

令和2年度
高齢者の交通安全対策に関する調査
【報告書】

令和3年3月
内閣府政策統括官（政策調整担当）

【目次】

要旨.....	1
第1章 調査趣旨.....	2
1-1 本調査の背景・目的.....	2
1-2 有識者との意見交換.....	2
第2章 過去の海外の交通安全に関する調査の検証及び それらを踏まえた調査方針の検討	3
2-1 過去の海外の交通安全に関する調査の検証	3
2-2 調査方針の検討	4
第3章 国内アンケート調査.....	5
3-1 アンケート実施概要.....	5
3-2 結果概要.....	7
3-3 詳細な集計・分析結果	10
第4章 諸外国における高齢者に係る交通安全対策の調査.....	56
4-1 諸外国における高齢者の交通安全を取り巻く環境	56
4-2 諸外国における高齢者に係る具体例調査.....	62
4-3 日本と諸外国における高齢者に係る交通安全対策の違い.....	129
第5章 諸外国へのヒアリング	141
5-1 ヒアリング調査の概要	141
5-2 ヒアリング調査結果.....	141
第6章 各調査から得られた示唆.....	151
6-1 国内アンケート調査を踏まえた高齢者の交通安全に関するポイント.....	151
6-2 諸外国の調査から得られたポイント.....	154
参考資料.....	188

要旨

交通事故死者数は近年減少し続け、現行の交通事故統計となった 1948 年以降で最も少なくなったところであるが、2019 年中の交通事故死者数は 3,215 人で、特に、交通事故死者数の全体に占める高齢者の割合は 55.4% と大きい。本調査では、高齢者の交通事故死者数の削減を目指し、自動車に搭載されている安全対策技術の認識や更なる要望及び自動車以外の移動手段の利用に係る意識調査並びに諸外国の高齢者の交通安全対策等を調査した。

第 1 章では本調査の趣旨を整理し、第 2 章では過去の海外の交通安全に関する調査の検証として、内閣府、日本の関連省庁及び関連団体等が過去に実施した海外の交通安全に関する調査を整理するとともに、それらを踏まえた本調査の調査方針として、高齢者の交通安全施策に焦点を当て、高齢者の安全運転に向けた自動車の先端技術の活用や自動車以外の移動手段の利用に関して、国内の高齢者に対する意識調査や海外の高齢者に対する交通安全施策を中心としてより詳細な調査を実施することとした。第 3 章では高齢者を対象とした交通安全意識等に関するアンケート調査を実施し、高齢者における先端技術の認識、先端技術に関する要望や運転免許の自主返納状況及び交通安全に関する認識状況を整理した。第 4 章では人口 10 万人当たりの交通事故死者数が少ない上位国に加え、高齢化率を加味し、調査対象国として、ノルウェー、スイス、デンマーク、アイルランド、オランダ、スウェーデン、スペイン、ドイツ、イタリア及びギリシャの 10 カ国を選定し、高齢者に係る先端技術の活用・普及等及び高齢者に係る自動車以外の代替手段の活用・普及等に係る具体例調査を実施し、日本と諸外国における高齢者に係る交通安全対策の違いについて整理した。第 5 章ではノルウェー、スウェーデン、ドイツの 3 カ国、計 4 団体に対してヒアリングを実施し、各国の高齢者の交通安全に係る主な対策や高齢者向けの交通安全普及啓発、高齢運転者の能力の確認・安全運転の確保及び高齢者が自身で運転を行えなくなった際の移動支援等の状況について整理した。第 6 章では国内アンケート調査を踏まえた高齢者の交通安全に関する課題及び諸外国の調査から得られた日本が参考とすべき取組を整理し、今後の取組の方向性を取りまとめた。